



c o n t e n t s

「第一回比べて読もう新聞コンクール」表彰式・中学生と教育委員による懇談会 …………… (1面)
 学校図書館貸出ランキング・学校支援ボランティア・体育館天井等の落下防止対策・学校におけるアレルギー疾患対応・
 北区立中学校生徒海外派遣・少年スポーツ活動指導者表彰式・アイデア工夫展・学校適正配置の取り組み …… (2・3面)
 学校自慢(岩淵小学校)・心の教育講演会・太陽光パネル寄贈・おいしい給食(滝野川第五小学校) …… (4面)



町会・自治会では **かいらん** 回覧でお読みください

東京都北区新聞大好きプロジェクト 「第1回比べて読もう新聞コンクール」表彰式

「比べて読もう新聞コンクール」は、区内の小中学生が、興味をもった新聞記事について、2つ以上の記事を比較し、感想や気づき、意見などをまとめて応募するコンクールです。新聞学習のコンクールを自治体主体で行うのは全国でも北区が初めてです。

複数の記事を比較することで、書かれている情報を読み取るだけに留まらず、文章から自分の考えを表現し、推論、評価、問題解決に活用する力を育てることができます。

北区では、新聞に親しみ、社会の出来事や仕組みに興味をもってもらうとともに、新聞を活用した授業を通して、子どもたちの思考力・判断力・表現力などを育成する「新聞大好きプロジェクト事業」を実施しています。

その一環として、平成25年11月22日(金)北とぴあにて、「第1回比べて読もう新聞コンクール」表彰式が行われました。3954点の応募の中から、北区長賞(最優秀賞)1点と各優秀賞が選ばれ、賞状と記念品が贈呈されました。学校賞には浮間小学校と王子桜中学校が選ばれました。



- 新聞各社賞受賞者
- 朝日新聞社賞「高校野球 故郷対決！」
滝野川小学校6年 大澤 幸就さん
 - 産経新聞社賞「感謝の気持ち」
浮間小学校6年 桐ヶ谷 心愛さん
 - 東京新聞賞「原子力発電所の再稼働・安全性」
王子桜中学校3年 齋藤 寧音さん
 - 毎日新聞社賞「人間の都合が招く動物の危機」
紅葉小学校5年 荒木 萌里さん
 - 読売新聞社賞「東日本大震災から2年半がたつ今」
桐ヶ丘中学校1年 菅野 桃子さん

北区教育委員会賞 「戦争、不戦の思い」

森岡 真優さん
 (滝野川小学校6年)

作品説明・感想
 私は戦争について、実際に戦地で戦った兵士と戦没者の遺族という立場が異なる2つのインタビュー記事を読み比べました。今までよりも戦争や平和について深く考えることができました。

北区長賞 「東京五輪決定 復興なるか」

渡邊 結女さん
 (滝野川第七小学校6年)

作品説明・感想
 2020年の東京オリンピック開催決定で喜びにわいている記事と、オリンピックのためにお金や人手がとられて復興が遅れてしまうのではないかという心配が書かれている記事を読み比べました。

私は今後復興が順調に進み、被災地の方も自分の家の茶の間で楽しめるような、本当の意味での「復興五輪」になることを願っています。今後も物事を一方的に捉えずにいろいろな見方で判断していきたいと思っています。

審査員特別賞 「沖縄で米軍ヘリが墜落」

飯島 康介さん
 (王子桜中学校2年)

作品説明・感想
 同じ事故の記事でも、新聞を読み比べてみると見出しや地図などに違いがあり、読んだ印象が違うことに気づきました。今後も、一つの情報にとらわれずに記事を読み比べてみたいです。

●お問い合わせ ● 教育指導課 ☎3908-9287

「第2回北区立中学校生徒と教育委員による懇談会」開催

—中学生と教育委員が部活動について語る—

昨年12月13日(金)、区内の全中学校の代表生徒12名と教育委員による「懇談会」を開催しました。

学校や家庭、地域を取り巻く問題について、北区の中学生はどのように考え、とらえているのか、「直接生の声を聞いてみたい」という教育委員の強い希望と中学校長会、そして各中学校の生徒会の協力により、昨年度から実現した会です。

平成25年度は、「部活動」をテーマに懇談しました。



部活動のよさについては、「仲間とともに好きなことに取り組み」「体が鍛えられる」「仲間ができる」「挨拶などを学べる」などの意見が出されました。改善した方がよいところについては、「部活動と勉強の両立が難しい」「先輩後輩の関係になやむ時がある」「目標を見失い、部活をやめてしまう人もいる」等の例が報告されました。

改めて、心身の健全な育成のために「部活動」を考える貴重なひとときとなりました。



●お問い合わせ ● 教育指導課 ☎3908-9287

学校図書館貸出ランキング

「学校では何の本が一番読まれているんだろう？」…自分以外の誰かが読んでいる本っておもしろそうだったりするよね。そこで、区内のある小学校で昨年1年間によく読まれた本を、学校図書館システム※の貸出データから抽出してみました。あなたが好きな本も入っているかな？

「ミック」や「迷路絵本シリーズ」が多く借りられています。なぜ解きが好きな児童が多いのかな？



順位	図書名	貸出冊数
1	時の迷路 (続)	62
2	文明の迷路 古代都市をめぐるアトランティスへ	55
3	かいけつゾロリ イシジ・ノジシ大ピンチ!!	49
4	自然遺産の迷路 屋久島発世界一周旅行へ	44
6	伝説の迷路 ヤマトノオロチの世界から神話と物語の旅へ	41
8	かいけつゾロリ たべるぜ！大くいせんしゅけん	39
10	かいけつゾロリ ちきゅうさいごの日	36
12	ミック! (7)	35
15	理科室のがいこつボキボキ	34
33	ジャレットとバラの谷の魔女	26
44	アマゾン大脱出	24

かいけつゾロリシリーズは、あいかわらず大人気!

学校の理科室は怖い話の定番!?

他にも、学校の図書室には楽しい、怖い、面白い、感動する本などがいっぱいあります。自分のお気に入りの1冊を学校でも探してみましょう！なお、中学校では「化物語」「空想科学読本」「ガリレオの苦惱」などが上位に入っていました。※区内の小・中学校に設置された学校図書館システムは、統計調査や検索のほか、バーコードリーダーによるスムーズな貸出・返却などにも活用されています。

お問い合わせ 中央図書館 ☎5993-1125

地域の力を学校に ～学校支援ボランティア活動推進事業～

北区では、学校・家庭・地域が協力した教育を目指して、スクールコーディネーターを中心に、地域の方が学校支援ボランティアとして学校教育に参加する「学校支援ボランティア活動推進事業」を行っています。

- Q: 学校支援ボランティア活動推進事業ではどんなことをしているのですか？
A: 様々な側面から学校教育を支援しています。大きく分けて次のような活動があります。

- ◇学習支援活動…授業のサポート、読み聞かせなど
- ◇部活動指導…部活動の指導、引率など
- ◇環境整備…図書室の整備、学年菜園、緑化活動など
- ◇登下校安全指導…登下校の見守り、校外のパトロールなど
- ◇学校行事支援…運動会などの学校行事や、研究発表等の支援

- Q: 学校支援ボランティア活動にはどんなメリットがあるのですか？
A: 子どもたちは様々な地域の方と触れ合うことで、多様な価値観を身に付けたり、社会性を育んだりする機会を得ることができます。学校は地域の方の協力を得て、今までではできなかったことや、学校だけでは形にできない新たな教育活動が可能になります。

- Q: スクールコーディネーターってどんな人ですか？
A: スクールコーディネーターは、地域と学校のパイプ役です。学校のニーズに沿ったボランティア活動の提案や、ボランティアの導入・活動のサポートなどを行っています。

お問い合わせ 学校地域連携担当課 ☎3908-9361



ボランティアによる音楽授業



読み聞かせ

より安全・安心な学校を目指して ～体育館（避難所）の天井等落下防止対策～

東日本大震災では、東北地方を中心に大規模なホールの天井等の落下被害が相次ぎました。空港のロビーの天井材が次々と落ちて壊れた映像は記憶に新しいところです。

学校の体育館においても天井の一部や、高いところの照明器具等が落下する恐れがあり、授業中の児童・生徒、教職員の身の安全や、災害時の避難所としての機能を確保する対策が全国的に急がれています。

その中で、北区では体育館や武道場の天井、照明器具、バスケットゴール、壁面の音響機器や時計、歌歌額などの卒業作品の落下防止対策を昨年度と今年度の2か年で集中的に実施しています。

本年3月末までには23区内でもいち早く全校の対策を完了する見込みです。

今後とも、安全・安心な災害に強い学校づくりを進めていきます。



すべての照明器具をワイヤーで固定



大規模な足場を組んで現状を調査



バスケットゴールに落下防止装置（中央たての黒い部分）を設置

お問い合わせ 学校改築施設管理課 ☎3908-9281

学校における アレルギー疾患対応

近年、学校給食を原因とするアレルギー事故の報道が続き、児童・生徒を食物アレルギー事故から守るための早急な対応が必要になっています。北区では、平成25年4月、「北区立小・中学校におけるアレルギー疾患への対応【簡易マニュアル】」を作成しました。

アレルギー疾患対応に関する基本的な考え方

このマニュアルは、アレルギー疾患のある児童・生徒の学校生活を、より安全で安心なものとするために、学校がよりどころとする基準として取りまとめたものです。

アレルギー疾患のある児童・生徒への対応は、文部科学省監修「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」と「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」に基づき対応することを基本的な考え方としています。

学校は、児童・生徒のアレルギー疾患について、詳しい情報を把握する必要があります。そのため、入学・転入・進学時などの時期に、保護者の方から「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」を提出していただき、保護者の方と学校長・副校長・担任

・養護教諭・栄養教諭・学校栄養職員などが、面接をして対応を検討します。

学校給食での食物アレルギー対応

アレルギー疾患のある児童・生徒の学校給食は、原則、原因食物（アレルゲン）の除去食で対応します。主治医により食物アレルギーと診断され、学校給食での配慮・管理が必要とされる児童・生徒が対象となります。

除去食については、各学校の調理設備環境等により対応しますが、給食で著しく栄養価が不足する場合や原因食物（アレルゲン）が多く除去食での対応がしきれない場合には、お弁当の持参をお願いすることがあります。

学校調理現場での対応

区立小・中学校の給食調理は、集団給食用の施設・設備で実施しています。また、各学校に在籍する児童・生徒の数も差があり、対応するアレルギー除去食の状況も様々です。

各学校では、学校職員と調理を委託している民間会社の調理員が綿密に打合せのうえ、調理手順等の確認をして安全な除去食の調理提供にあたっています。

今後も、食物アレルギーのある児童・生徒に対し、より安全で安心な学校給食を提供するため、小・中学校と連携して取り組んでいきます。

お問い合わせ 学校支援課 ☎3908-9295

HELLO!! SEVEN HILLS SCHOOL! 「北区立中学校生徒海外派遣」

昨年11月16日（土）から11月24日（水）まで、北区立中学校2年生の代表生徒25名が、アメリカ合衆国のSeven Hills School（セブンヒルズスクール）を訪れました。

「北区中学校生徒海外派遣」は、今年で26年目を迎えます。カリフォルニア州ウォルナットクリー



ク市にある同校との交流は、今年で15回目となります。派遣生は、現地でホームステイをしながら、異文化を直接体験するとともに、幼稚園や小・中学校において、日本文化を紹介する「授業」を行ってきました。1月24日（金）に北とびあつ

つじホールにおいて派遣報告会を行い、活動の成果を発表します。ぜひご参加ください。



派遣生の声

- ・英語が苦手だったけど、コミュニケーションできたので嬉しかったです。
- ・ホストファミリーの皆さんが温かく、感激しました。私も、外国の方に親切にしたいと思います。

お問い合わせ 教育指導課 ☎3908-9287

平成25年度北区少年 スポーツ活動指導者表彰式

北区では、区内の様々な少年スポーツ活動に長年携わり、指導・運営に献身的な取り組みを行っている方の日ごろの努力に敬意を表し隔年で表彰を行っています。

本年度は昨年10月26日（土）に北とびあにて、9名の方に表彰状と記念品を贈呈しました。昨年は団体が54年ぶりに東京で開催され、2020年東京オリンピックが決定するなど例年にも増してスポーツ活動への機運が高まりました。北区では、今後も指導者の方とともに少年スポーツ活動の発展を目指します。

お問い合わせ 生涯学習・スポーツ振興課 ☎3908-9330



- (左上から)
北区青少年委員会会長 内海 三保子 / 青少年田端地区委員会 飯嶋 喜代隆
青少年東田端地区委員会 増澤 富士雄 / 北区サッカー協会 菊池 敏裕
北区教育委員会事務局次長 田草川 昭夫
- (左下から)
北区ソフトテニス連盟 森泉 康夫 / 北区レジャー連盟 石崎 賢代
青少年滝野川地区委員会 佐藤 みさ代 / 北区教育委員会教育長 内田 隆
北区なぎなた連盟 坂井 範子 / 北区水泳連盟 上原 英里子
スポーツ少年団 鈴木 秋夫 (敬称略) ※太字が今年度表彰者

第28回 北区小・中学生 アイデア工夫展

主催：北区青少年委員会
北区小・中学生アイデア工夫展実行委員会
共催：北区、北区教育委員会

今年も区内すべての小・中学校から、創意工夫によるアイデア作品736点が出品され、過去最多の応募数となりました。その中から見事金賞に輝いた3作品をご紹介します。

展示会という発表の場を設けることで、子どもたちの制作意欲を高め、また、子どもたちが創造する喜びや発明の楽しさを発見するきっかけとしても大きな成果を上げています。

小学校低学年の部金賞

食べて元気すごろく(りったいすごろく)



滝野川第三小学校3年 中田 万純さん

作品説明

ペットボトルのキャップをコマにしてルーレットを回して出た数だけ進みます。1番はじめにゴールした人が勝ちです。体の中の仕組みや元気になるための食べ物をすごろくにして、ゲームで楽しくわかるようにしました。

感想

賞を取れるとは思ってなかったので、びっくりしました。ルーレットを回したり止めたりする所がむずかしかったです。図かんや本でいろいろ調べて、内ぞうをフェルトで工夫して作りました。

小学校高学年の部金賞

くつ下はき機



東十条小学校6年 澤田 竜二さん

作品説明

座ったままの姿勢で、腰を曲げずに丸棒とレバーを動かして、くつ下はけるようにセットできます。広げたくつ下にそのまま足を通すだけです。腰が曲がりにくくなったお年寄りが、楽にくつ下をはくことができます。

感想

腰が曲がりにくいおばさんのために考えたので、金賞をもらえてとてもうれしいです。工夫した点はアームを上下できるようにしたところ、苦勞した点は、くつ下を広げた形で固定するところです。

中学校の部金賞

コンパクト収納イス



王子桜中学校2年 萩原 菜月さん

作品説明

背もたれの後ろに座るところを入れられるところがあり、コンパクトに収納することができます。リラックスして座ることができるよう、角度を工夫しました。

感想

テレビをリラックスして見るために作ったイスが、こんなにすばらしい賞に選ばれるとは思ってなかったので、驚きです。がんばって作ったかがありました。

お問い合わせ 生涯学習・スポーツ振興課 ☎3908-9323

小学校の適正配置に取り組んでいます!

学校には、子どもたちが集団生活を通じて、互いに学び合い高め合うとともに、社会性を身につけることができる環境が必要です。学校適正配置は、このような環境を整え、学校が本来の機能を十分に発揮できるようにするための施策です。

北区では、東京都北区立学校適正配置計画に基づき、学校ファミリーのサブファミリーの範囲をブロックとして、保護者や地域の代表の皆さんと話し合いながら小学校の適正配置を進めています。

平成24年度から話し合いを行っている2つのブロックのうち、田端中学校サブファミリーブロックでは、皆さんとの話し合いを基に、平成26年4月に滝野川第一小学校と滝野川第七小学校が統合して、新たに「田端小学校」が誕生することになりました。現在、新校の誕生に向けた準備を進めています。また、稲付中学校サブファミリーブロックでは、新たな学校づくりに向けて熱心な話し合いが続いています。

さらに、平成26年度からは、滝野川紅葉中学校と明桜中学校のサブファミリーブロックで話し合いを始めます。



平成26年度から話し合いを始めるブロック

滝野川紅葉中学校サブファミリーブロック			
検討対象校	滝野川第二小学校、滝野川第三小学校、滝野川第六小学校、谷端小学校、紅葉小学校		
適正配置計画	・本ブロックにおける小学校の数は、3～4校とする。 ・小学校の配置は、小学校数とあわせて検討する。		
明桜中学校サブファミリーブロック			
検討対象校	王子第一小学校、豊川小学校、柳田小学校、としま若葉小学校		
適正配置計画	・本ブロックにおける小学校の数は、3～4校とする。 ・小学校の配置は、小学校数とあわせて検討する。		

計画における協議期間

学校の配置や統合時期等の話し合いを2年間、その後の統合新校の開設準備の話し合いを1年間として、3年間を協議期間の目安としています。

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
協議期間			統合新校 開設
学校配置及び統合 時期等協議	新校開設 準備協議		

お問い合わせ 学校適正配置担当課 ☎3908-9271